

講座名称：「高冷地植物生産生態学演習」

「高冷地動物生産生態学演習」

「高冷地生物生産生態学演習」各2単位

担当教員：岡部繭子、関沼幹夫、春日重光、荒瀬輝夫、濱野光市

対象学生：全国の大学生

実施時期および募集人員：

高冷地植物生産生態学演習 平成28年8月10日（水）～8月13日（土） 若干名

高冷地動物生産生態学演習 平成28年8月22日（月）～8月25日（木） 若干名

高冷地生物生産生態学演習 平成28年9月 5日（月）～9月 8日（木） 若干名

全日程、最終日の終了時刻は13：30の予定です。

※応募者多数の場合は選考があります。

集合時刻：各開講期間とも初日の10:00（農学部）、または12:00（野辺山駅）

*野辺山駅までツアー運行（要予約）の高速バス（新宿駅～野辺山駅間）を利用する場合は、事前に信州大学農学部学務グループまでご連絡ください。

高速バスの予約等については下記URLを参照。

<http://www.highwaybus.net/route/yts-sin.php?id=TJ>

集合場所：①信州大学農学部

住所：長野県上伊那郡南箕輪村8304

アクセス：高速バス中央道伊那インター、または伊那インター前下車 徒歩約15分

②野辺山駅

アクセス：野辺山駅までのアクセス方法は次のURLを参照。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nobeyama.php>

*各集合場所までは公共交通機関を利用すること。

実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 野辺山ステーション

住所：長野県南佐久郡南牧村大字野辺山字二ツ山462-1

TEL：0267-98-2638（岡部繭子）

地 図：



演習内容・計画

信州大学農学部には八ヶ岳東山麓の野辺山高原（標高1,351m）に附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）野辺山ステーションがあります。周辺一帯は、高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域で、こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育、研究を推進しています。

AFC野辺山ステーションでは、夏季の冷涼な環境で、高冷地特産のキャベツなどの高原野菜やベニバナインゲンなどの豆類とソバを生産しています。また、黒毛和種の肥育素牛を生産する繁殖飼育を行っています。さらに、周辺の野菜生産農家の見学や酪農施設を利用した牛乳の加工も体験することができます。

演習では、教員および技術職員の指導により、自炊設備を備えた宿泊施設（収容50名）と高冷地フィールド・施設を活用して高原野菜の生産・出荷と加工利用および家畜の飼養管理を体験し、食料の生産から出荷・販売までの一連の過程を学びます。さらに、近隣の自然観察を行い、高冷地の特異な自然環境について学びます。各回の演習項目はほぼ同様の内容を取り扱いますが、演習により重点的に取り組む項目が若干異なります。各演習の重点演習項目は、高冷地植物生産生態学演習は高原野菜の栽培管理と収穫、高冷地動物生産生態学演習は乳用牛（または和牛）の飼養管理、高冷地生物生産生態学演習は

高冷地で栽培される複数品目の作物栽培管理と収穫です（計画参照）。

本年度の計画は以下の通りです。また、夕食後は高冷地農業および自然環境全般について研究、体験発表等を行います。なお、天候や野菜の生育状況、受講学生の専攻等により計画を一部変更することもあります。

【高冷地植物生産生態学演習】

- 1日目：集合・移動、昼食後 ガイダンス・近隣農家および出荷施設の見学と説明
- 2日目：午前：高原野菜の栽培管理と収穫
午後：牧場体験および牛乳加工体験
- 3日目：午前：ソバの加工実習
午後：高原野菜の栽培管理と収穫
- 4日目：午前：野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査
昼食後解散

【高冷地動物生産生態学演習】

- 1日目：集合・移動、昼食後 ガイダンス・近隣農家および出荷施設の見学と説明
- 2日目：乳用牛（または和牛）の飼養管理
- 3日目：午前：ソバの加工実習
午後：高原野菜の栽培管理と収穫
- 4日目：午前：野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査
昼食後解散

【高冷地生物生産生態学演習】

- 1日目：集合・移動、昼食後 ガイダンス・近隣農家および出荷施設の見学と説明
- 2日目：午前：高原野菜の栽培管理と収穫
午後：牧場体験および牛乳加工体験
- 3日目：午前：ソバの加工実習
午後：高冷地作物の栽培管理と収穫
- 4日目：午前：野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査
昼食後解散

参加費用：授業期間中の宿泊費・食事費等4,000円を現地で徴収します。
集合場所までの旅費は自己負担です。

提出書類：自大学の学務(教務)担当者と相談の上、下記の書類を提出してください。
下記、IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。
受入身分について等、不明な点がある場合は下記問合せ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務(教務)係等へ提出ください。

- ①依頼書（履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ）
- ②履修願（履修希望学生から信州大学農学部長へ）
- ③申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）
- ④受講志望理由書（別紙）
- ⑤学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー
- ⑥成績証明書

※書類は、所属大学・学部の学務(教務)係等に問合せください。

II. 特別聴講学生とならない場合

以下4点の書類（①②は、下記URLよりダウンロード）を希望学生自身が送付先まで提出ください。ただし指導教員、クラス担任等の押印が必要です。

- ①申込書

②受講志望理由書

③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

④健康診断書

※①②様式ダウンロードURL：

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>

(「公開農場実習」参加者募集のお知らせ内のリンクをクリック。)

書類送付・問合せ先： 信州大学農学部学務グループ

住所：〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

Tel：0265-77-1309 Fax：0265-77-1313

Email：agakumu@shinshu-u.ac.jp

※送付の際には、封筒の表に「公開実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切： I IIとも平成28年7月8日(金) 信州大学農学部必着

受講許可： 書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項：

I. 特別聴講学生となる場合：

修了者には、信州大学農学部から所属大学・学部の学務(教務)宛に単位修得証明書を発行する。

II. 特別聴講学生とならない場合：

修了者には、「修了証」を発行する。その書類を持って自大学で単位の認定を希望する学生は事前に自大学学務担当係等で確認してください。

キャンセルポリシー：

開催1週間前以降のキャンセルについては宿泊費を、1日前および実施期間中のキャンセルについては、参加費用全額を支払っていただきます。

その他特記事項：

◎持参物

初日の昼食、水筒、医療保険証、作業着、帽子(収穫作業+日焼け防止用)、手袋(軍手等)、ゴム長靴、カップ、日焼け止め、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品(入浴用石鹸、シャンプー、歯ブラシ等洗面具、タオル、着替えを含む)等、参加費+集合場所までの交通費

*作業着(長袖、長ズボン等動きやすく、汚れてもかまわない服装であれば特に指定はありません) ジャージ上下、つなぎ等も可能)

*宿泊施設には洗濯機(3台)、乾燥機(3台)、洗剤を備えた男女別の洗濯室あり

*野辺山ステーションは高標高(1,351m)のため朝夕は冷え込むので、防寒用の上着等が必要

◎宿泊施設・設備：

宿泊部屋数：洋室6室(1部屋最多8名：2段ベッド×4)、和室4室(1部屋最多4名)

洗濯室・乾燥室：男性用洗濯室・乾燥室(2室)、女性用洗濯室・乾燥室(男女各洗濯機3台、乾燥機3台；洗剤、ハンガー等利用可能)

シャワー室：男性用シャワー室、女性用シャワー室(各4ブース；石鹸、シャンプーの備付なし)

トイレ：男性用共同トイレ(1、2階)、女性用共同トイレ(1、2階)

厨房：宿泊者 共用自炊用品(ガスコンロ、炊飯器、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、調理器具、食器類)

食堂：宿泊者 共用50人用テーブル、椅子、テレビ、パソコン(デスクトップ、ノート各1台)

講義室：1室(最多60名)

ネット環境：無線LAN(全室利用可能)

冷暖房設備：なし

◎食事：

初日の昼食は各自用意、持参すること。

演習期間中の食事は自炊（班当番制）

◎やむなく欠席する場合：

1週間前までに信州大学農学部学務グループまで申し出てください。

直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各回演習の前日までは信州大学農学部学務グループに、当日は野辺山ステーション（Tel.0267-98-2638またはTel.080-9287-3980、Tel.090-8723-1740）に必ず連絡してください。